



1 住宅

● 住宅の建て方別の世帯数 (単位: 世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	44,745	637,230
長屋建	895	19,514
共同住宅	96,236	1,064,905
その他	184	1,656
合計	142,060	1,723,305

資料: 令和2年国勢調査

鶴見区で持ち家に住む一般世帯は55.3%だよ!



住宅の建て方を見ると、共同住宅が最も多く96,236世帯(住宅に住む一般世帯数に占める割合は67.7%)と約3分の2の世帯が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが44,745世帯(31.5%)となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は67.7%で、横浜市全体の61.8%と比べ5.9%も上回っています。

● 空き家率

	鶴見区	横浜市	全国
空き家率	10.7%	9.7%	13.6%
住宅総数(戸)	151,690	1,835,800	62,407,400
空き家数(戸)	16,280	178,300	8,488,600

資料: 平成30年住宅・土地統計調査

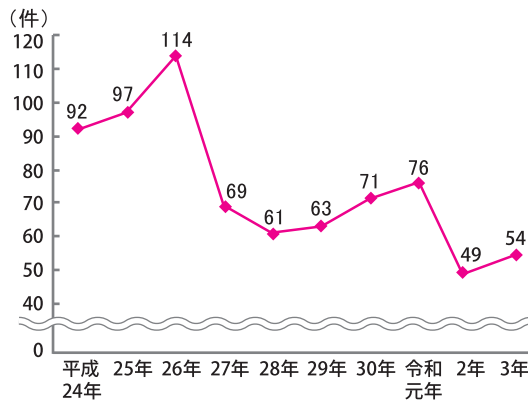
空き家率を見ると、鶴見区の空き家は16,280戸で10.7%を占めています。横浜市全体の9.7%に対し、鶴見区は空き家の割合が1.0ポイント高くなっています。

2 消防

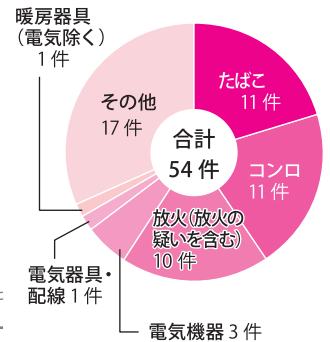
令和3年中の鶴見区内の火災発生件数は54件で、前年と比べると5件増加しました。火災原因としては、一番多いものが「たばこ」と「コンロ」でともに11件、次に「放火」10件となっています。

また、令和3年中の鶴見区内の救急車の出動件数は15,124件で前年度から881件増加しています。出動理由は、急病が全体の約70%を占めています。

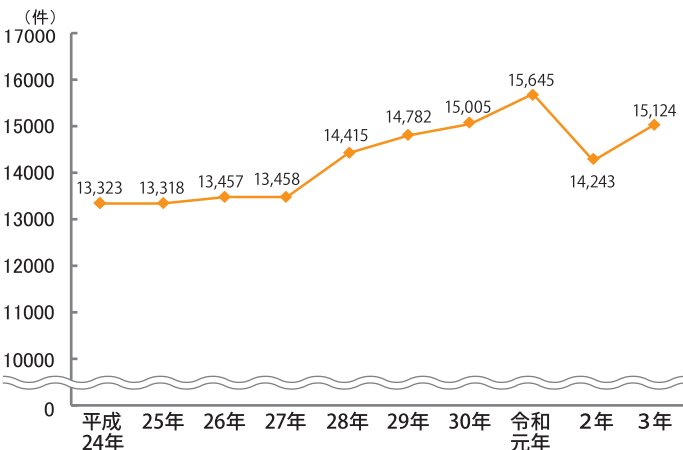
● 火災発生件数の推移



● 火災原因別件数



● 救急車出動件数の推移

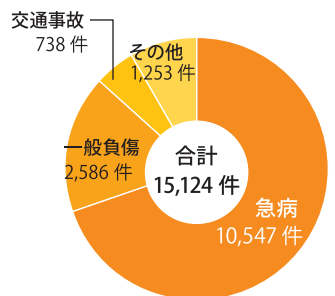


救急車の出動件数が増え過ぎると、空白地域*の増加につながり、傷病者の救命率が低下する恐れがあるよ。

*救急車が多数同時出場することで、その地域に救急車がない状態



● 救急車出動理由



資料: 鶴見消防署